

第33回職業リハビリテーション研究・実践発表会
パネルディスカッションⅡ グリコチャネルクリエイト事例紹介
～定着・活躍・成長につながる障がい者雇用×雇用の質を高めるための支援を考える～

グリコチャネルクリエイト株式会社

総務人事部 武田 直明
2025年11月13日

グリコチャネルクリエイト株式会社 会社概要

商 号	グリコチャネルクリエイト株式会社
事 業 内 容	菓子・食品・飲料の販売、製造
設 立 年 月 日	2016年6月1日
本 社	〒555-8502 大阪市西淀川区歌島4-6-5
代 表 取 締 役	西村 浩一
資 本 金	80百万
大持 株 主 及 び 比 率	江崎グリコ株式会社 100%
事 業 所 数	オフィスグリコ事業部 57販売センター 直営店舗事業部 7店舗
従 業 員 数	約600名

グリコチャネルクリエイト株式会社 事業概要

Glico Channel Create

オフィスにお菓子・飲料をお届けするサービスや
百貨店・空港で貰えるスイーツギフトなど
多様化する生活に密着し、幅広い事業を展開しています。

Glico

グリコチャネルクリエイトは
江崎グリコの100%子会社です。

Channel

チャネル=新たな販路・消費者接点を
つくります。

Create

仲にとらわれず、新たな可能性に挑戦し、
独自の価値を創造します。

オフィス グリコ 事業

はたらくひとの一番近くに寄り添い
おいしさと健康をお届け

ココロとカラダを サポート

オフィスにリフレッシュメントを提供
することをコンセプトにサービスを
開始。社内コミュニケーションの活
化や健康サポート等にお役立て
ください。

<事業内容>

■ オフィスグリコ

オフィスでお菓子・飲料・アイスク
リーム等の商品を気軽にお買い求
めいただぐサービス。スタッフの直
接訪問により商品補充・代金回収を
行います。

Relax

Special

Communication

Happy

Direct

Partnership

Business

Future

直営店舗 事業

付加価値の高い商品を
最高のサービスとともに提供



バントドール
全国の百貨店や空港で展開しています。

キャラメルキッチン
北海道産の原材料にこだわった
店内キッチン併設の生キャラメル
専門店。

最高の笑顔でおもてなし
商品と人が輝ける場の創出を目的
に直営店舗の運営を開始。接客
サービスを通じて商品にプラスア
ルファの付加価値を提供します。

<事業内容>

■ バントドール

伸び余地に彩りを添えるプレミアム
スティックスイーツ専門店。

■ キャラメルキッチン

北海道産の原材料にこだわった
店内キッチン併設の生キャラメル
専門店。

オフィスグリコ事業 概要

- ・オフィスで働く方々が各自で利用したい時に、設置したBOX、冷凍冷蔵庫から商品を取り出し、代金を備え付けの貯金箱に投入して頂くシステムです。
- ・仕事中のリフレッシュに、社内のコミュニケーションに、会社の循環型備蓄品として多くの支持を得ています。

office glico

ワクワクはたらくあなたのそばに



業界シェアNo.1 **20年の実績**

約
10万台

のサービス拠点でご利用頂いています！

PayPay/d 扱い /auPAY
QR コード決済が
ご利用可能です！

※「QR コード」は
株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

江崎グリコが運営する
置き菓子®サービスのパイオニア！



省スペースで
かんたん設置！

豊富な
商品ラインアップ！



働く人のココロとカラダをサポートする『置き菓子』®

気分転換に最適

仕事の息抜きにサッと食べて
しっかりリフレッシュ。気持ちを
切り替えることで、やる気アップ
をサポートします。



コミュニケーション活性化

社員同士の会話も弾む、リフレッ
シュスポットとしても活躍。お疲れ様の気持ちを込めて、お菓子
の手渡しなど、職場の新習慣に。



おいしく健康サポート

小腹を満たすツールとしてだけ
でなく、身体ケア・リラックスなど、現代人の悩みに寄り添うお菓子
のラインアップ。



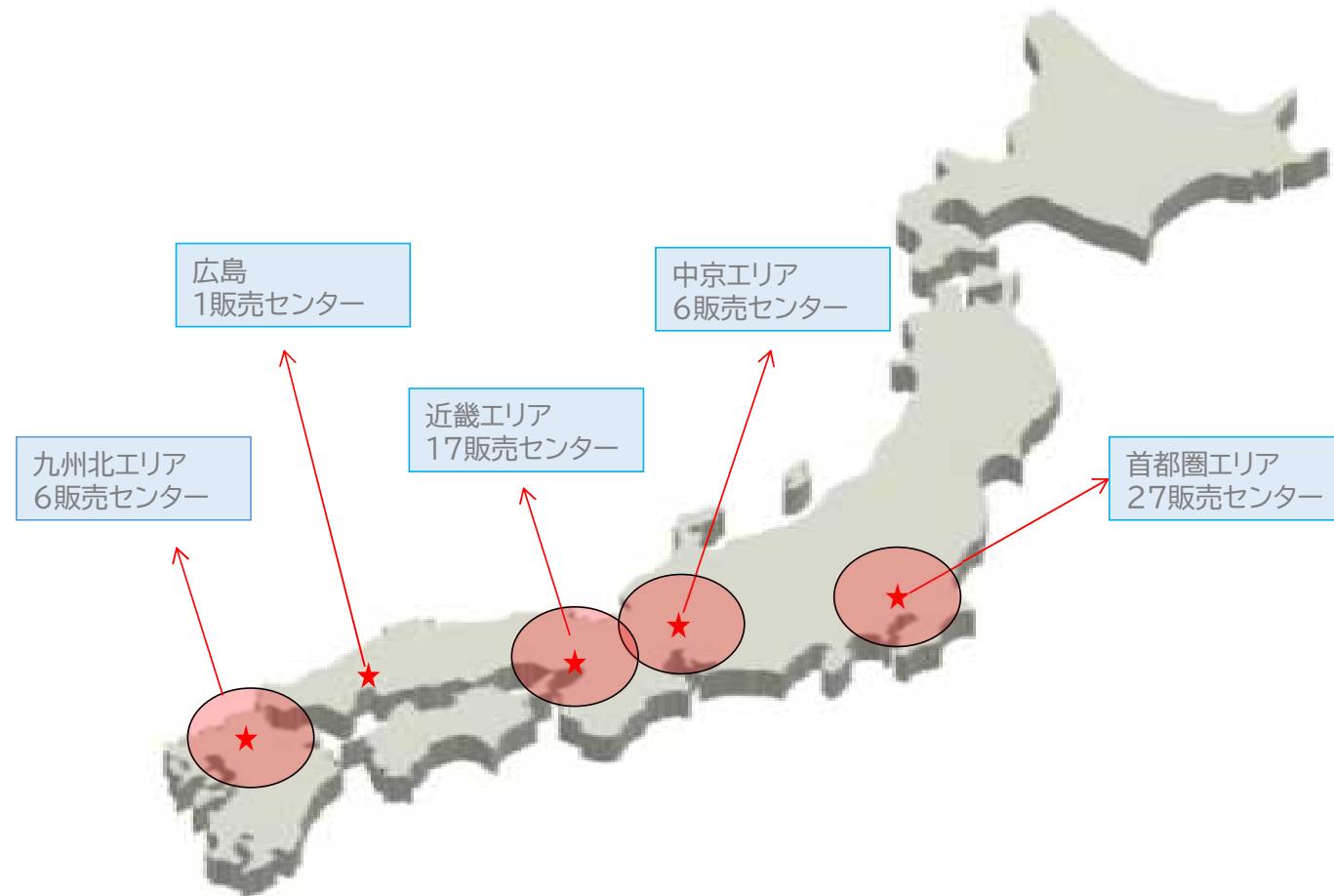
会議のアイデアラッシュに

会議の場での意見交換の活性化
に。堅くなりがちな雰囲気をお菓子
が和らげ、意欲向上やストレス
軽減に貢献します。



オフィスグリコサービス展開地域

首都圏、中京、近畿、九州北、広島で全57販売センターからサービスを提供



直営店舗事業 概要

- ・2012年10月 バトンドール高島屋大阪店、バトンドール阪急うめだ本店にグリコ直営店を初オープン。現在では、直営7店舗を全国で展開。
- ・主に百貨店や空港にて、プレミアムスティックスイーツ「バトンドール」と生キャラメル専門店「キャラメルキッチン」を展開
- ・キャラメルキッチンにおいては商品を店舗で製造し販売することで、できたてのおいしさ、手作りならではの品質を提供しています。

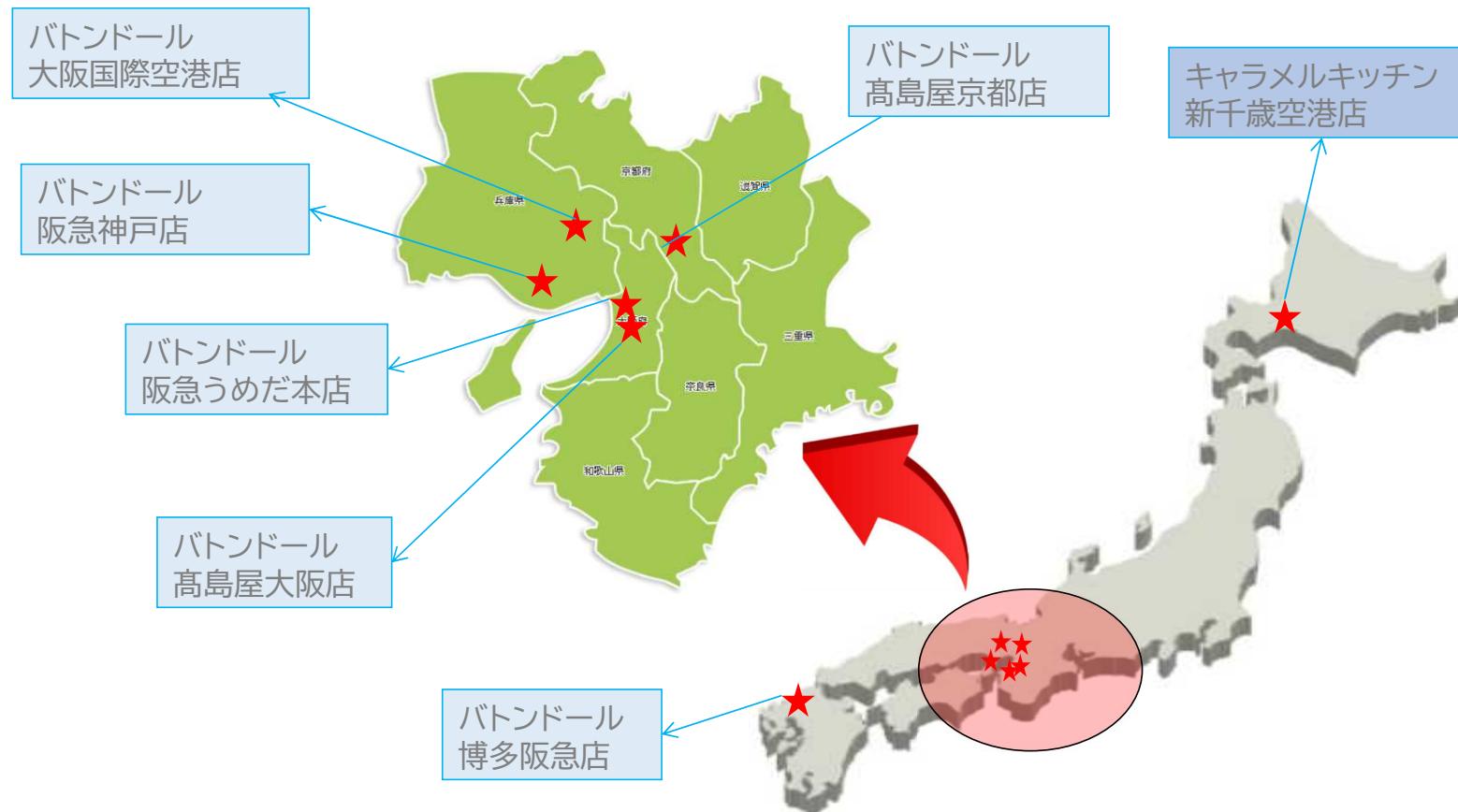


Bâton d'or



店舗展開地域

店舗所在地(常設7店舗 北海道1店、近畿5店、九州1店)からサービスを提供



障がい者雇用に取り組む上でぶつかった壁

弊社事業特性上、雇用・定着に際して苦労した点

分散拠点ゆえの定着の難しさ

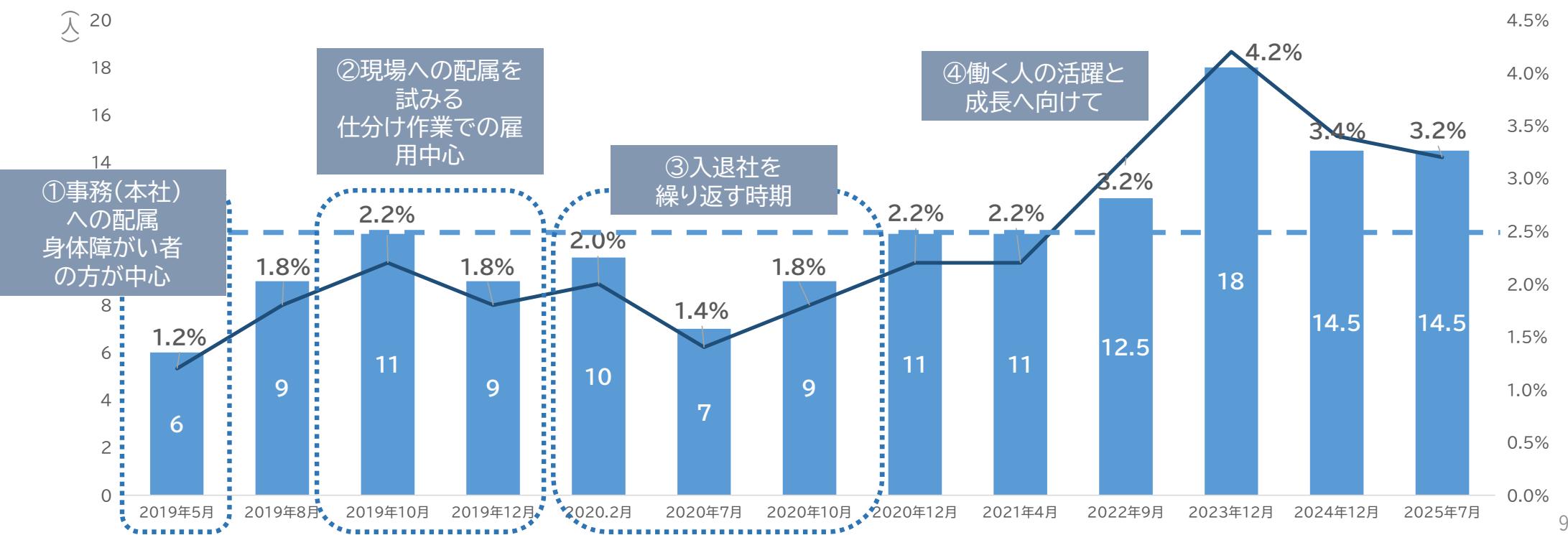
全国に拠点があり、人事部門がタイムリーにサポートするのが難しい。

配置・業務アサインの難しさ

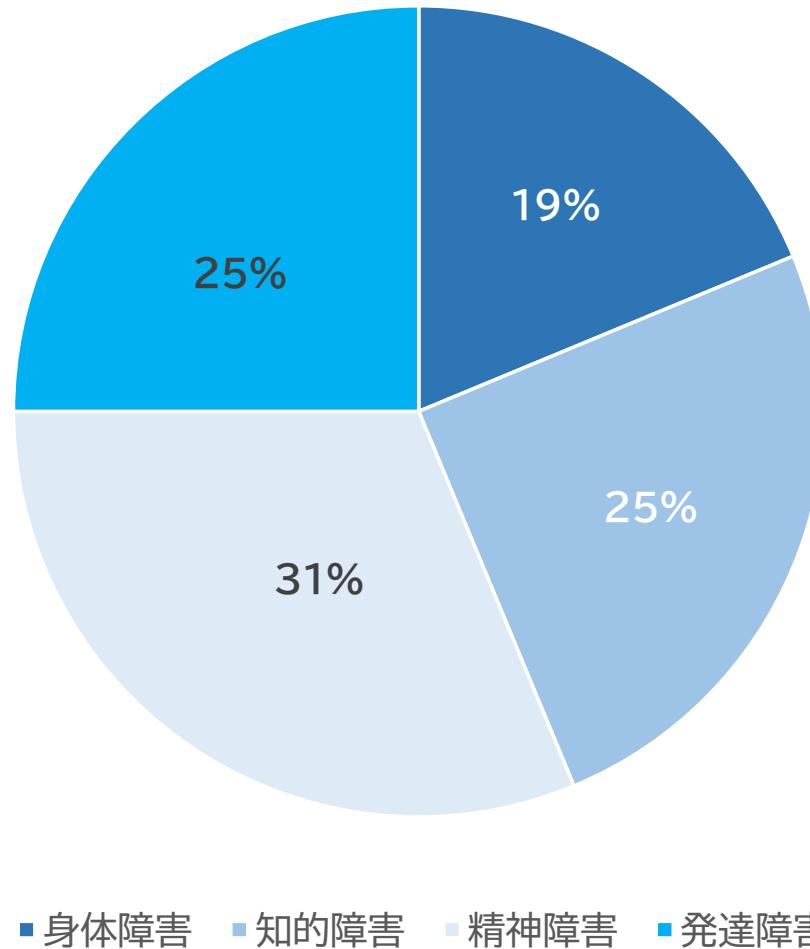
弊社の中心業務(オフィスグリコ:拠点への菓子・飲料のお届け、店舗:販売・接客)を通じて活躍していただきたい。

グリコチャネルクリエイト障がい者雇用取り組み状況

- ①会社設立の2016年から制度面での整備を進めると同時に、障がい者雇用にも注力。ただ、当初は、「遠隔かつ、専門知識のない現場に障がいを持つ方を配属することは無理」というアンコンシャスバイアスから、総務人事部など足元の部門への配属を進める。
- ②その後、現場(オフィスグリコ事業部)への配属を試行錯誤して進める。ただ、お客様拠点への配送ではなく、菓子・飲料の仕分け作業が中心。また身体障がいを持つ方だけでなく、精神障がいを持つ方の雇用も試みる。
- ③現場での受け入れ対応へのサポート体制が整っておらず、離職者も多く発生。その課題認識をもとに、実際の働く方々の交流会や職場体験を通じた、業務理解促進ための取組みなどを企画・実施。
- ④今後は、障がい者を持つ方がただ単に「働くだけ」ではなく、本人の適正を活かした場を提供し、「活躍」「成長」を実感出来る職場を目指す。



障がい別活用状況内訳



なぜ、今、会社として障がい者雇用を進めるのか？

多様な人材が能力を發揮し、活躍できる環境を整備して、
雇用人数や法定雇用率の枠を超えた活躍の機会を創出したい。

⇒「私たちはオフィスグリコというサービスを通じて、多くのオフィスに“ちょっとした幸せ”を届けていると考えています。

同じように、私たちの職場にも多様な人が安心して活躍できる“ちょっと幸せな環境”を作ることが、私たちの成長に欠かせないと考えています。」

障がい者雇用 取組み事例①



【グリコ】優しいスタッフのおかげで長く続けられる!! 【こねくと卒業生インタビュー】

<https://youtu.be/ERgPnp-Hi8o?si=tk7PZbvKlk2xKlYD>

- ・入社前に通所していた就労移行支援センターより依頼があり、就労が定着しているセンタースタッフがインタビュー動画に出演。
- ・この方は、オフィスグリコの拠点先へ菓子・飲料をお届けするお仕事に従事いただいておりますが、入社当初はお菓子の補充する物量や種類が増えると戸惑うこともありました。その際、センター運営責任者と会話を持ちながら、業務の見直しを行い、適材適所の活用が上手くいった事例です。
- ・オフィスグリコでは、多くの方が職場へ笑顔やリフレッシュ(ほっとひと息)を届けるために、さまざまな業務に着いています。

障がい者雇用 取組み事例②

- ・コロナ禍で対面での交流が難しい時期でも、何か障がい者雇用者同士が繋がることはできないものか考え、Teamsでの交流会を実施。
- ・緊張したが参加してよかったです、横の繋がりを感じられた。同じ仕事をする者同士での仕事をする上での悩みなどが聞けたなどの感想が得られました。



障がい者雇用 取組み事例③(職場体験マッチング事業参加)

- ・大阪府主催の精神・発達障がいを中心とした、働く意欲のある障がいのある方と職場体験受け入れ希望の企業が繋がる職場体験マッチング会に参加。
- ・26名の方がエントリー、就労経験のある5名と学校卒業後に就労移行支援センターで知識や必要なスキルを学び、就職の準備をしている2名が、オフィスグリコセンターで菓子・飲料の仕分け作業を体験。
- ・2日間の体験を通じ、体験者の自己肯定感の向上や、社会参加への不安解消のきっかけになるとともに、受入れ職場の方々にとって、障がいを持つ方の受け入れに関する配慮などに関する理解促進にも繋がったと感じております。



障がい者雇用 取組み事例④(職場体験マッチング事業参加)



- 就労経験のない体験者には、仕事の手順だけではなく、挨拶や報連相の大切さを、業務を通じてイメージしやすいように説明を行い、体験を通して感じていただきました。
- 10以上の数字のカウントや漢字が苦手な方が参加されることを事前に確認出来たため、何かいいツールはないかと考え、写真の数字ボードを作ることにより、受け入れ先の工夫によって、活用の幅が広がることを受入れ先現場の責任者に理解いただくことが出来ました。
- このような事例を通して、職場体験は参加者にとっての働くことに対する自信に繋がるだけではなく、弊社にとっても、受け入れ現場の障がい者に対する理解を深める良い機会になっています。
- 職場体験後に業務内容を理解された上で、オフィスグリコで働きたいとエントリーいただけ、事前に業務を体験することでミスマッチも減らせることを感じております。

障がい者における今後の目標と展望

「働く」から「活躍」へ、そして「成長」へ
障がい者雇用を“本業の力”につなげる。

⇒そのためには、現場責任者向け研修・サポート・人事の代わりに現場がフォローできる体制づくりが必要